

日本農業新聞

米国での抹茶ブームの仕掛け人



ひと

前田園USA・CEO

前田拓さん

「アメリカ人って砂糖を入れてお茶を飲むんだ。駄目だよな」。40年近く前、米国から帰国し

た時に言われた。それに対する答えはこうだ。「いいじゃない。ミルクや砂糖を入れても。飲み方はいろいろなんですよ」

今や、日本人だけでなく世界中で愛される抹茶アイスクリームや抹茶ラテ。これらを米国で「世

界に先駆けて」生み出した。

「アメリカでお茶を新しく考え、そのコンセプトを日本に逆輸入しよう」。そう意気込み、28歳で渡米した。そこで目を付けたのが、色彩的で味覚的、利用にバリエーションがある抹茶だった。

試行錯誤の末、199

ままだ・たく

1956年、長崎市で日本茶を製造・販売する「前田園」の次男として生まれる。米国に渡り、日本茶や抹茶アイスなどの製造・販売を手がける。米国ロサンゼルス在住。

3年に抹茶アイスクリームを商品化。99年にはロサンゼルスで抹茶カフェを開き、そこで抹茶ラテを発売すると、反響を呼んだ。

一方で、日本で茶の生産現場に目を向けると、放棄された茶園が目立つ。ペットボトルのお茶が主流になり、「良い茶葉が買われないのが現状だ」。

4月に出版した「抹茶革命と長崎」では10、20代の「Z世代」へのメッセージを込めた。日常生活の「どういう時に、ど

でもらえるのか」。次世代に語りかける。
(宮本卓)